スポーツ現場実習Ⅲ

科目ナンバリング　SPS-408
選択　　1単位

佐野村　学・山本　明秀

1. 授業の概要（ねらい）

　アスレティックトレーナーの活動であるスポーツコンディショニングやアスレティックリハビリテーション、トレーニング指導などを実際のスポーツ現場で行えるよう実習を行う。
特にこの授業では、実習現場で、チームスタッフ・トレーナー間、選手とのコミュニケーションが適切に取れているか、実習中リーダーシップを発揮し、学生トレーナーとしての役割を担えているか、ATの役割を理解し、それに準じた知識や技術をみにつけているかを中心に評価し、各論では主にスポーツコンディショニング、検査・測定と評価の実習を行う。
※2年次のスポーツ現場実習Ⅰを修得していることを単位認定の条件とする。

2. 授業の到達目標

・担当教員に対して、報告、連絡、相談が適切にできる（自分の意見も踏まえたうえで）
・解剖学の知識を習得し、現場で生かせる
・現場において、適切にリーダーシップが発揮できる
・トレーナー活動をするにあたり、適切な準備が行えている
・適切に検査・測定を行うことができる
・適切に評価を行うことができる
・アスレティックトレーナーの役割を十分に理解し、それを全うできるよう準備ができる
・スポーツ外傷の知識を取得し、予防につなげることができる

3. 成績評価の方法および基準

実習への参加意欲・活動（40%）　レポート（40%）　報告会発表（20%）

4. 教科書・参考文献

教科書
『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①アスレティックトレーナーの役割』
『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト②運動器の解剖と機能』
『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト③スポーツ外傷・障害の基礎知識』
『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト④健康管理とスポーツ医学』
『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑤検査・測定と評価』
『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑥予防とコンディショニング』
『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦アスレティックリハビリテーション』
『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑧救急処置』
『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑨スポーツと栄養』

5. 準備学修の内容

　教科書・参考書を用いてトレーナーに必要な知識や技術、資質などについて事前学習しておくこと。スポーツ現場に入る前に、現場実習のルールやマナー、心構えなどについて再確認しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

　スポーツ現場に入る前に参考書を用いてトレーナーに必要な知識や技術、資質などについて学習し、実習に意欲的に取り組むこと。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンスほか
【第2回】　筋力トレーニングについて
【第3回】　スタビリティトレーニングについて　アジリティトレーニングについて
【第4回】　サーキットトレーニングについて
【第5回】　傷害予防のコンディショニングについて　ストレッチング・テーピング
【第6回】　疲労回復を目的としたコンディショニングについて
【第7回】　ウォーミングアップ・クーリングダウン並びにフィットネスチェックについて
【第8回】　現場での検査・測定と評価の実際　姿勢・アライメントの観察、計測
【第9回】　関節弛緩性検査　関節可動域検査
【第10回】　徒手筋力検査　機器を用いた筋力および筋持久力検査
【第11回】　全身持久力の検査　敏捷性および協調性の検査・測定　身体組成計測
【第12回】　体力測定
【第13回】　歩行動作・走動作、ストップ・方向転換動作
【第14回】　跳動作・投動作、あたり動作　競技特性にあった検査・測定と評価
【第15回】　発表と総評